

夏休みにおける 少年の非行・犯罪被害防止



大分県警察

夏休みは、こどもの非行や犯罪被害の危険が、、、

夏休みは、こどもの気が緩みがちになり、夜遅くまで出歩く等の非行の兆しが出やすい時期です。また、こどもがインターネットやSNSを利用する時間も増えることから、SNS等の利用をきっかけに犯罪被害に巻き込まれることが懸念されます。

インターネットの危険性



投稿や写真などは完全に消せない

一度投稿すると、誰かが保存・拡散するため、完全に消すことはできません。



やりとりの相手がよい人とは限らない

SNSやオンラインゲームで親しくなった相手が女性のふりをして犯罪を考えている場合もあります。



個人情報の流出

写真の背景や制服、データの位置情報など些細なことから、住所、学校、名前等の個人情報が特定されます。



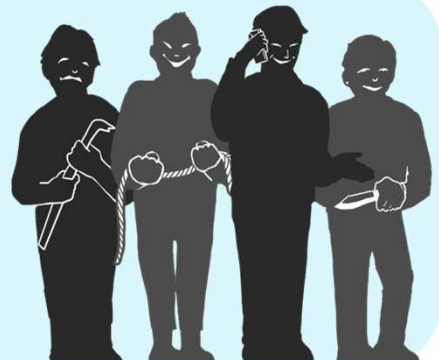
SNSでの犯罪被害に気をつけよう！

～SNS等を通じてこども達が性犯罪の被害に～

CHECK!!

CASE 1

SNS等に「お金に困っている」等と書き込むと、犯行グループから「楽に大金を稼げる」と書き込みがあった。個人情報を送り応募すると、仕事が犯罪行為であることがわかり拒否したが、「自宅に押し掛ける」等と脅されたため、犯罪行為に加担した。



CASE 2



SNSで知り合った女の子と下着姿の写真を交換したら、実は相手が男性で、裸の写真を送らないと下着の写真をばらまくと脅された。

CASE 3

SNS等に「家出したい」と書き込んだら、親切な人が声をかけてくれ、その人の家に行くと監禁されて性被害にあった。



SNS等を使った性犯罪等から守るためのPOINT

- ✓ ネットには多くの危険性を含んでいることを理解する



ネットは便利な反面、多くの危険性を含んでいます。
身近な事例等を交えて、こどもに伝えるなどしてインターネットの危険性を実感させましょう。

- ✓ フィルタリングやペアレンタルコントロール機能を活用する



有害なWEBサイトや不適切なアプリへのアクセス自体を遮断・制限するフィルタリングや、利用時間や特定のアプリの利用可否を保護者が管理できるペアレンタルコントロール等のサービスを積極的に活用しましょう。

- ✓ 家庭内のルールをつくる



あいまいにせず、利用時間や場所など、具体的なルールを作ることが重要です。口約束だけでなく、紙に書くのも効果的です。

- ✓ 投稿した情報から自分の情報が相手に伝わることを理解する



SNSのプロフィール、何気なく投稿した写真の背景等からも個人情報特定される危険性があります。

- ✓ 知らない人と個別にメッセージのやりとりや通話をしない



個別の人とやりとりをしたり、会ったりすることは、犯罪被害にあうリスクが高まります。

- ✓ 「よい人」と思える人であっても信用しすぎない



ネット上には、親切的な「よい人」を演じていても、本当は悪いことを考えている人がいることを理解しましょう。

オンラインゲーム上のリスク

こどもが遊ぶ「オンラインゲーム」にも性犯罪に巻き込まれるリスクがあります！

保護者の方に知っていただきたいリスク



- リスク1** 小学生などの年少者も被害にあっている！
- リスク2** ゲームの上級者に対する「憧れ」の感情を利用される！
- リスク3** 協力プレイをすることで、知らない人にも「仲間意識」を持ちやすい！
- リスク4** アイテムをあげるといった甘い言葉に乗せられ、言うことに従ってしまう！
- リスク5** 「ボイスチャット」等の機能があり、不特定の人と簡単にやりとりができる！

インターネットの利用に必要なルールを 家族で考えよう

トラブル防止には、家族で話し合ってルールを作ることが大切です。



家庭で作るルールの例



- | | |
|--|---|
| ☒ 1日〇時間以上は、使用しない | ☒ 夜〇時以降は、使用しない |
| ☒ 知らない人と連絡先を交換しない、会わない | ☒ 困ったらすぐ大人に相談する |
| ☒ 人を傷つける書き込みをしない | ☒ 自分の写真を載せない、送らない |
| ☒ SNS等へ個人情報の書き込みをしない | |

親子で見てもらいたいサイトの紹介

警察庁webサイト子供の性被害対策

小学生向けや中高生向けなど、対象にあわせた被害防止のためのマンガや動画を紹介



https://www.npa.go.jp/policy_area/no_cp/prevent/materials.html